

事務事業名		気仙広域連合衛生センター屋根及び外壁改修事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登録事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登録事業				
政策体系	政策名	02 自然豊かな環境の保全と共生		事業期間		予算科目				
	施策名	05 地域環境の保全と共生				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	03 し尿の適正処理の推進				06	04	01	03	00
根拠法令				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 ↓ 23 年度～ 23 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入						
所属	部課名	気仙広域連合 衛生課								
	係名	総務係	電話 0192-26-3739 内線 直通							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)						
疏泄の延命化を図るため、長年の塩害、風害により劣化していた衛生センターの屋根改修をおこなった。当初、屋根と併せ外壁の改修も予定していたが、外壁の改修については東日本大震災による災害復旧事業でおこなった。				総投入量 (千円) 事業内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 9,906 事業費計(A) 9,906 人件費 正規職員従事人数 2 延べ業務時間 40 人件費計(B) 160 トータルコスト(A)+(B) 10,066						

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
既存する屋根のケレン・清掃及び下地調整の後、フッ素樹脂塗装塗替をおこなった。		ア	屋根の面積 m ²
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	改修した屋根の面積 m ²
なし		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
・雨漏り等による電気設備等への影響及び作業環境の悪化		名称	
		単位	
		カ	雨漏りの件数 件
		キ	
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
・雨漏りによる漏電等のため電気設備が故障し、し尿処理ができなくなる事態を避ける。		名称	
・作業通路に水たまりができ滑りやすくなることによる、作業中の事故を防ぐ。		単位	
		サ	雨漏りを原因とする電気設備の故障 件
		シ	労災事故件数 件
		ス	
④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
屋根を回収することにより、雨漏り等による電気設備の故障の心配がなくなり、し尿処理施設を休止することなく安定し稼働できる。			
作業環境が良くなることにより、安心して効率的に作業(し尿処理)に取り組むことができる。			

(2) 総事業費・指標等の推移								
		年度	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	9,906				
	事業費計(A)		千円	9,906	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2				
		延べ業務時間	時間	40				
		人件費計(B)	千円	160	0	0	0	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	10,066	0	0	0	0
⑤ 活動指標		ア	m ²	1394.4				
		イ	m ²	1394.4				
		ウ						
⑥ 対象指標		カ	件	5				
		キ						
		ク						
⑦ 成果指標		サ	件	0				
		シ	件	0				
		ス						

事務事業ID	1462	事務事業名	気仙広域連合衛生センター屋根及び外壁改修事業
--------	------	-------	------------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	長年の塩害、風害により施設の屋根が劣化し、雨漏り等による電気設備等への影響も懸念されたことから、総合計画に要望として搭載し、平成22年度において工事をおこなう予定であった。しかし、構成市町の予算措置等が揃わず、平成23年度におこなうこととなった。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	当初は、屋根のほか、外壁、雨樋等についても改修を行う予定であったが、これらについては東日本大震災の津波による災害復旧工事により行うこととなった。
③ この事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな要望が寄せられているか？	構成市町には、し尿処理施設の延命化を図るために必要な改修であることを理解いただいた。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ し尿処理施設が設備の故障等により休止することなく、安定して処理できることは環境の保全に繋がり、住民が安心して快適に暮らすことができる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、し尿の処理は市町村が行わなければならないとされており、当広域連合は構成市町である大船渡市、陸前高田市及び住田町から排出されるし尿及び浄化槽汚泥の処理をおこなっている。衛生センターは気仙広域連合の施設であり、他に代替施設がないことから、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 雨漏りを防ぐことにより、施設内の電気設備が漏電により故障する等の心配がなくなる。また、作業環境が良好になり、安心して作業できることとなるため、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ この事業は、東日本大震災による災害復旧事業と同時ににおこなったことにより、足場の架設等の経費が節減できた。事業終了後は、施設内での雨漏り等はなくなり、雨漏りを原因とする設備機器の故障の心配がなくなり、作業環境も良好となった。また、災害復旧事業により、外壁、雨樋等も改修されたため、施設全体の延命化が図られた。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 雨漏り等により施設内の電気設備が故障することにより施設を休止することは、構成市町内に代替施設が無いことから、他の施設での処理をお願いすることとなり、処理費用に加えて運搬費用も掛かる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 屋根改修は、施設の災害復旧事業と併せて行われており、単独で改修工事をするよりは、費用及び工事期間において効率的にできた。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ この事業は、東日本大震災による災害復旧事業と同時ににおこなわれことにより、足場の架設等の経費が節減できた。屋根改修については、補助メニュー、有利な起債メニューは無いため、一般財源(構成市町からの負担金)での事業となった。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 災害復旧事業と併せておこなったことから、単独で工事をおこなった場合と比べ、効率的に事務をおこなうことができた。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 屋根改修については、補助メニュー等がない為、構成市町からの負担金により行われた。施設の建設費に係る負担金の算出方法については、当広域連合規約等に定められており、費用負担は適正である。
公平性 評価		

事務事業ID	1462	事務事業名	気仙広域連合衛生センター屋根及び外壁改修事業
--------	------	-------	------------------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	施設の屋根改修が行われることにより、施設内の設備への雨漏り等による影響がなくなり、作業環境も良くなることで、作業の効率化が図られた。また、災害復旧事業と併せておこなったことにより、経費の節減が図られ、施設全体としての延命化にも繋がった。し尿処理施設を安定して稼働できることは、住民が安心して暮らすことができ、環境の保全に繋がる。																					
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																					
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 事業終了(平成23年度の単年度事業)。		左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	衛生課長
-------	------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																						
①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) <input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) <input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																						
(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由																					
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	事業の意図を把握しており、評価も適切である。																					
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)	(5) 改革・改善による期待成果																					
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 事業終了(平成23年度の単年度事業)。	左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
